



上空から大自然を満喫

大空から大自然を眺める

八千高原で熱気球体験

5月22日、23日の2日間にわたり、ひょうごCSRクラブ但馬支部の主催による熱気球体験が行われました。

なかなか体験することができない熱気球に乗れるとあって親子連れなど約350人が熱気球による空中遊泳を楽しみました。

最大直径約13m、高さ約23mのバルーンに90度に熱した空気を送り込むと、上空20mまで熱気球が上昇。搭乗した参加者は約5分間の空中遊泳を楽しみ、上空からの氷ノ山や八千高原の雄大な景色を満喫していました。



ユニークな歴代優秀作品が並んでいます

文化交流施設「木彫展示館」がオープン

10年間の優秀作品を展示

築120年の古民家を改造した木彫展示館（大屋町大杉）が4月29日、オープンしました。

これは、大屋で根つき始めた「フォークアート」を新たな個性に育てようと、10年間続けた公募展「木彫フォークアートおおよ」の歴代優秀作を展示しているもの。古民家が多い同町大杉区の診療所だった建物を、約7,000万円かけて再生しました。

展示棟は、第1回目からのグランプリ作品など、さまざまな味わいを持つ木彫作品が畳や土間に展示。診療所だった建物は創作棟として体験教室やギャラリー等に利用され、たたみの間、炊事室も備わっています。

約460坪の敷地内には、当時の面影そのままの日本庭園、池などもあり野趣あふれる景観を楽しむことができます。

ダンスや民謡など成果を披露 第23回ようか芸能祭

5月23日、八鹿文化会館文化ホールで第23回ようか芸能祭主催／八鹿文化協会、八鹿文化会館）が開催されました。

例年2回に分けて実施していた同芸能祭ですが、今年は3部構成として1日で実施。ダンスや舞踊、民謡などのプログラムに21団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露しました。

会場を訪れた観客の皆さんは、舞台上で繰り広げられる軽快な民謡や華麗なダンスなどの演目に大きな拍手を送っていました。



息の合った踊りを披露